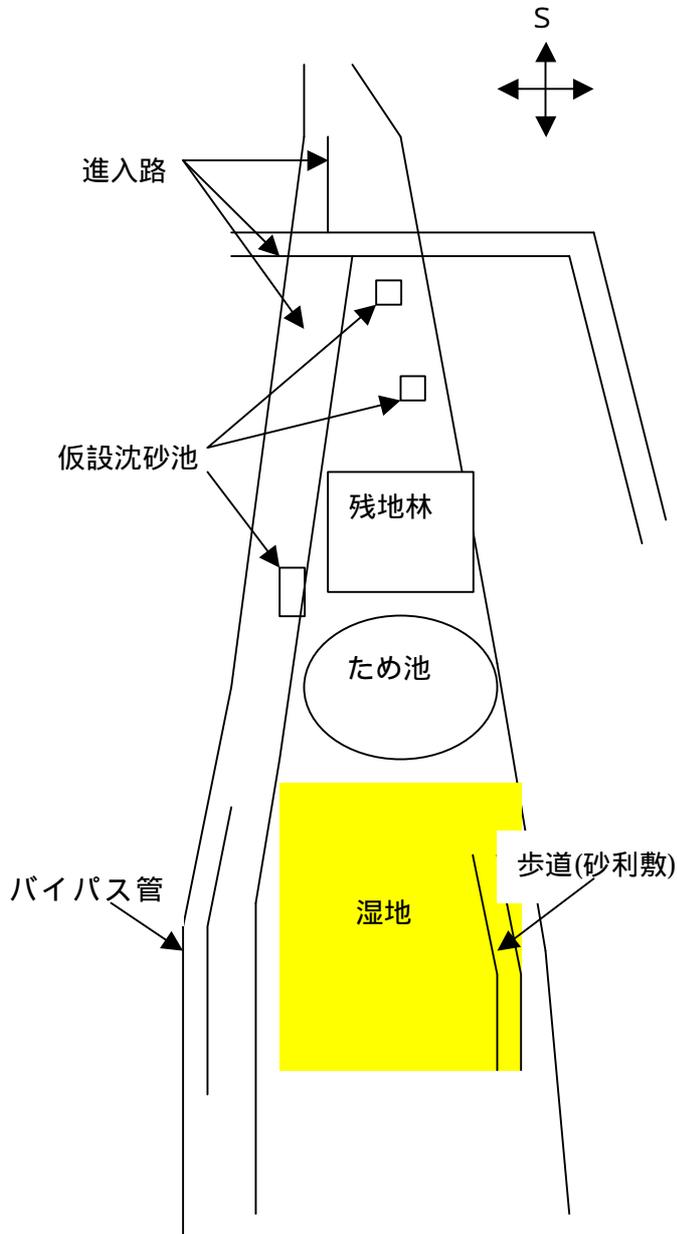


(補足資料) 別所カスミサンショウウオの谷の状況について

岸田 元男



谷の上部から重機が入り既に元の森林のありさまを留めていない。進入路が谷を分断する形で横切っており、そこはダムサイトのようにそびえたっている。

残地林が少しあるが上部も横も裸地になっているため見る影もない。仮設沈砂池が作られているが上部から流れてくる土混じりの水は止めようもなく残地林・ため池へと入っている。

バイパス管が湿地横の林道の削られた斜面に添って設置され、下流部は水路に既に接続されているが上部はまだ仮設沈砂池と接続されていない。

仮設沈砂池はため池のすぐ上部で建設中で直径3m高さ1mほどのかまぼこ型のステンレス製のものつなぎ、地中に埋めているところ。さらに上部の仮設沈砂池は木組みである。

ダムサイト状の侵入路は西側の尾根を分断した後谷へ向かって伸びており、谷においてもすでに大規模な改変が進んでいる模様。

カスミサンショウウオの生息に重要な影響を与えることは確実である。